



No.164

2024.3.18

兵庫県立神戸商業高校

図書館

新着図書紹介

春休み長期貸出のお知らせ

3月18日(月)～

貸出冊数制限なし

返却日 4月12日(金)

今回紹介した以外にも新着図書が数多く入っています。休みの間に一冊でも読んでみましょう。



『シャーロック・ホームズの凱旋』 森見 登美彦【著】

天から与えられた才能はどこへ消えた？舞台は、ヴィクトリア朝京都。ホームズとワトソンは、この摩訶不思議な大迷宮を抜け出せるかー。

『ひゃっか！』 今村 翔吾【著】

「全国高校生花いけバトル」。即興で花をいける、5分の勝負。高校生たちの花にかける純粋な思いが煌めく、極上の青春小説。

『植物に死はあるのかー生命の不思議をめぐる一週間』

稲垣 栄洋【著】

生命とは？生きるとは？驚きの「結末」が待っている人気植物学者が贈る極上のサイエンスミステリー。

『＃Z世代的価値観』 竹田 ダニエル【著】

マーケティング用語じゃない。これはまったく新しい「世代論」絶望的な世界に生まれた“Z世代”が、「愛」と「連帯」で価値観の革命を起こす！

『アフリカで、バッグの会社はじめました 一寄り道多め 仲本千津の進んできた道』 江口 絵理【著】
バッグづくりを通してアフリカ女性を支援する社会起業家・仲本千津さんの、これまでの迷い多き道をたどる“進路決定”ドキュメンタリー。

『デザインのミカタ：無限の「ひきだし」と「センス」を手に入れる』

デザイン研究所

デザインの基本は、「見る力」と「言語化する力」本書は、それを学べる一冊。チラシ、ポスター、企画書、WEB…さまざまな作例をもとに、プロがどのように見ているのかを紹介する。

『ブラック・ショーマンと覚醒する女たち』

東野 圭吾【著】

謎に包まれたバー『トラップハンド』のマスターと、彼の華麗なる魔術によって変貌を遂げていく女性たちの物語。

『ブッタとシッタカブッタ いのちのオマケ』

小泉 吉宏【著】

悩みが尽きないブタの「シッタカブッタ」が自分を見つめ考え、時にブタの「ブッタ」に諭されながら人生を模索するお話。生きるためのヒントが詰まった4コマ漫画。

『東京都同情塔』

九段 理江【著】

Qあなたは、犯罪者に同情できますか？Qあなたはなぜ、犯罪者ではないのですか？生成AI時代の預言の書！第170回芥川賞受賞。

『ジェンダー目線の広告観察』 小林 美香【著】

コンプレックスを刺激する脱毛・美容広告、バリエーションの少ない「デキる男」像。公共空間にあふれる広告を読み解き、「らしさ」の呪縛に抵抗する。

『新書100冊—視野を広げる読書』

高橋 昌一郎【著】

学問の最先端から、きょうのニュースの背景まで。
現代のエッセンスを1冊に凝縮。地に足ついた
「知」のために。この1冊で、足場を築く。

【新着の新書です！】

台湾のアイデンティティー	家永 真幸	歴史
宇宙ベンチャーの時代 経営の視点で読む宇宙開発	小松伸多佳	航空宇 宙工学
ハイトクライムとは何か	鶴塚 健	政治
源氏物語入門	高木 和子	文学
国連で働く—世界を支える仕事	植木 安弘	国際法
文学は地球を想像する	結城 正美	文学
耳は悩んでいる	小島 博己	医学
ケアしケアされ、生きていく	竹端 寛	社会
東大生と学ぶ語彙力	西岡 壺誠	言語
学校に染まるな！ —バカとルールの無限増殖	おおた としまさ	教育
ジェンダー格差—実証経済学は何を語るか	牧野 百恵	社会
食べものから学ぶ現代社会	平賀 緑	経済
勉強ができる子は何が違うのか	榎本 博明	心理学
「よく見る人」と「よく聴く人」 —共生のためのコミュニケーション手法	広瀬 浩二郎 /相良 啓子	社会
農はいのちをつなぐ	宇根 豊	農業
循環経済入門—廃棄物から考える新しい経済	笹尾 俊明	環境
帝国図書館 —近代日本の「知」の物語	長尾 宗典	図書館
文化財の未来図 〈ものづくり文化〉をつなぐ	村上 隆	芸術

ぶらり選書 2学年 末福先生

『日本語と外国語』 鈴木孝夫著

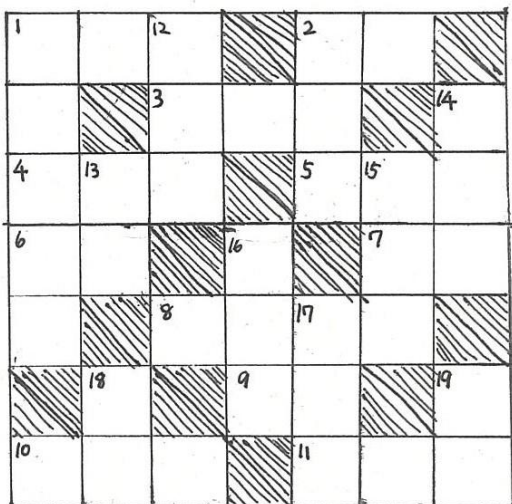
「あと10分ほどで、オレンジ色の車で迎えに行きます。」
慣れないフランスの土地で、タクシーを呼んだ私は、ホテル
の入り口で車を待っていた。しかし、約束の時間を過ぎて
も、それらしき車は現れない。オレンジ色の車。約束の10
分を大幅に過ぎたころ、私ははっとした。さきほどから、少
し離れたところに茶色の車がずっと停まっていた、男性が
こちらを窺うように見ている。駆け寄ってみると、それが私
の呼んだタクシーだったのだ。

これは「日本語と外国語」(岩波新書)の冒頭で書かれ
ている一節です。オレンジ色だと言われ、オレンジ色の車を
探していた私。自分が乗っている車を茶色ではなくオレンジ
色と表した男性。文化の違いから生じた行き違いです。

私も、実は、この本の著者と同じような経験をしたことが
あります。カナダでホームステイをしていた時、ホストマザ
ーが夕食時に“What was your dinner?”と訊ねてきた
のです。いま、夕食を食べているところなのに、「今日の夕
食は何だったの？」なんて、いったいどういうことなのだろう
かと、その時は“It was good!”と適当に愛想笑いをして
しまいました。のちに分かったことですが、dinnerとは1日
の一番大きな食事のことを指すそうで、カナダでは、昼食
がそれに値するみたいです。

外国語を学ぶということは、その言語が話されている国
の文化も一緒に学ぶということなのです。便利な世の中にな
ったおかげで、日本語を話すと、それをあつという間に外国
語に直してくれる時代になりました。それが、いいんだか
悪いんだか。でも私は「日本語と外国語」の冒頭で紹介さ
れてるエピソードこそが、言語を学ぶ本質だと思います。

3年生制作のクロスワード



ヨコのかぎ

- ① ふとんの上にひく あたたかい布
- ② 日本の国旗の真ん中の色
- ③ 田舎の反対語
- ④ 銀行にお金を預けること
- ⑤ 黒と緑のフルーツ
- ⑥ 塩がとれる場所
- ⑦ 舌を英語で!
- ⑧ 涙が出る時の感情
- ⑨ 体の100ツ「〇〇が重い」
- ⑩ ドンキー・コングのモーター
- ⑪ 新学期にドキドキする「〇〇〇替え」

タテのかぎ

- ① 7限授業のある曜日
- ② 夏に食べる冷たいもの
- ③ おる時にかぶるもの
- ④ 卵の白身と〇〇
- ⑤ 冬に食べるオレンジのフルーツ
- ⑥ 足をたんすにぶつけると〇〇〇
- ⑦ チョコ〇〇〇ジャム
- ⑧ 準備すること
- ⑨ 牛・豚・〇〇
- ⑩ 机と〇〇

答え合わせは図書室で